
個人投資家向け会社説明会



(東証1部、札幌証券コード:8377)

2013年6月



設立 : 平成15年
 本店所在地 : 富山市
 資本金 : 708億円
 自己資本比率 : 11.88%
 格付 : JCR 【A】
 R&I 【A】

地方銀行 預金・貸出金25年3月末残高

単位: 億円

	預金 (含む譲渡性預金)		貸出金	
	1位	ふくおかFG	117,727	横浜
2位	横浜	115,374	ふくおかFG	92,512
3位	ほくほくFG	100,081	千葉	79,121
4位	千葉	99,698	ほくほくFG	74,020

※各行決算短信より当社作成～「ふくおかFG」「ほくほくFG」は単純合算～

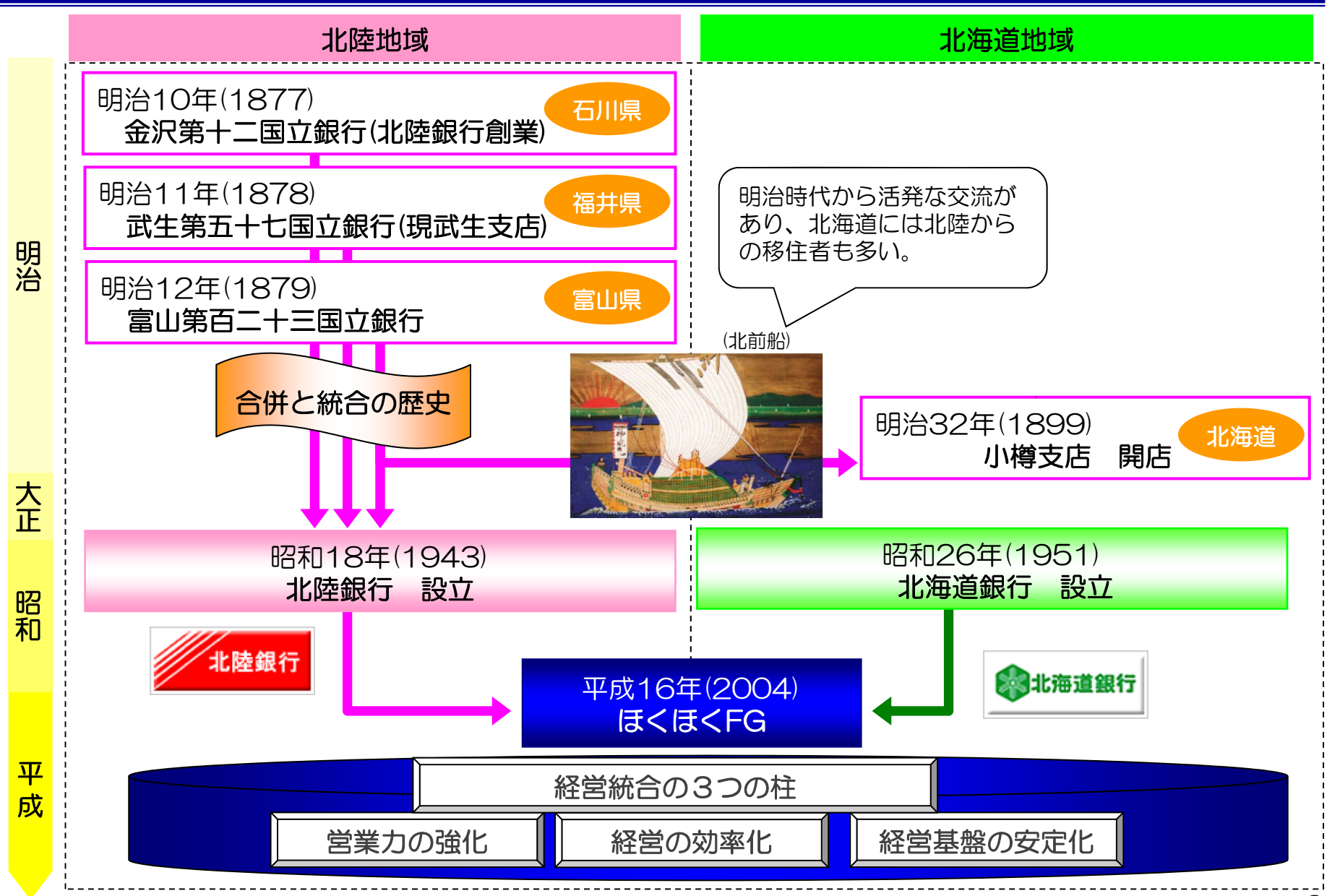


設立 : 昭和18年
 (創業明治10年)
 本店所在地 : 富山市
 店舗数 : 国内188 ・ 海外6
 (本支店143、出張所45)
 従業員数 : 2,772人
 資本金 : 1,404億円
 自己資本比率 : 11.78%
 格付 : JCR 【A】 ・ R&I 【A】

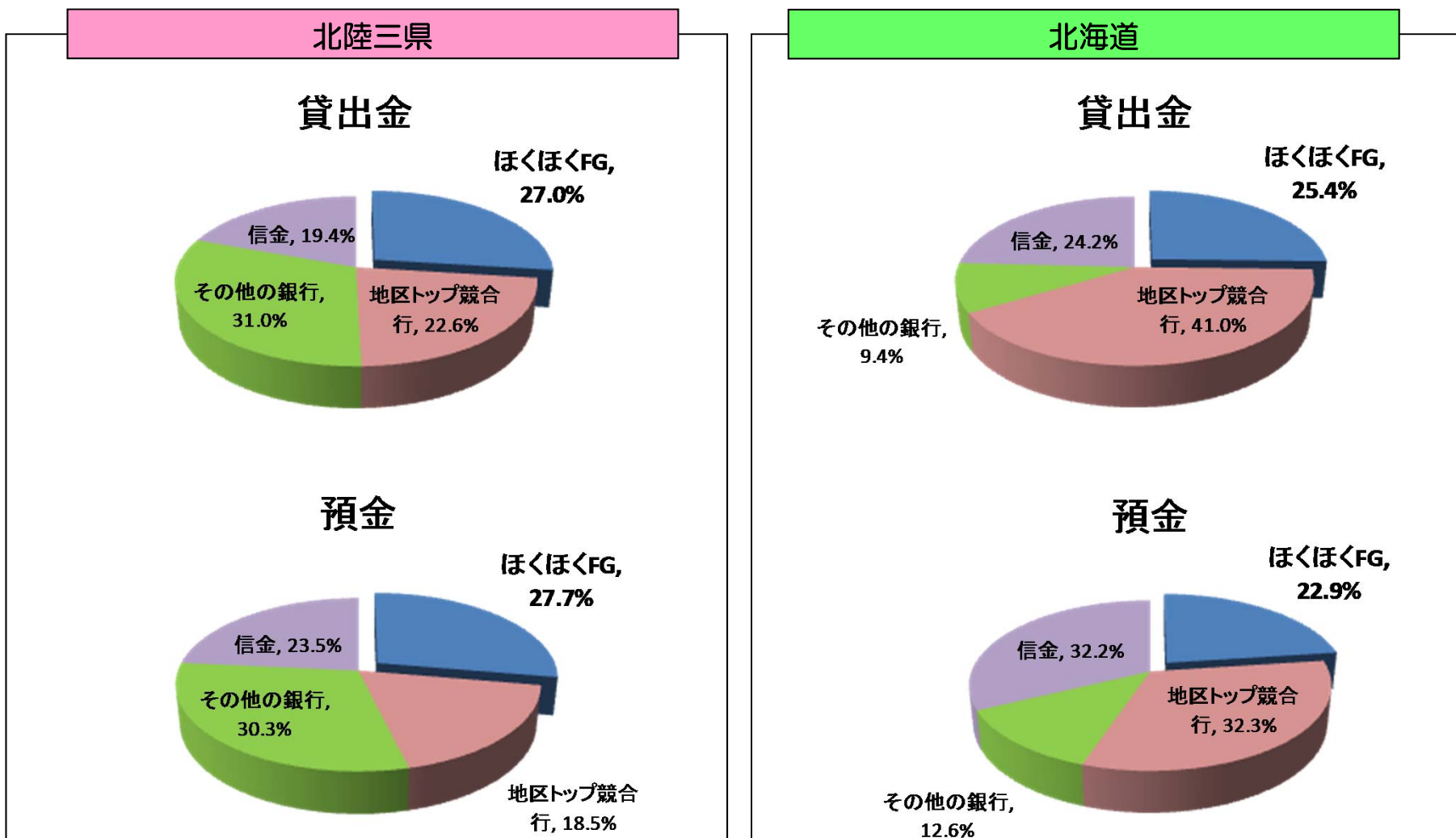


設立 : 昭和26年
 本店所在地 : 札幌市
 店舗数 : 国内140 ・ 海外2
 (本支店133、出張所7)
 従業員数 : 2,412人
 資本金 : 935億円
 自己資本比率 : 11.23%
 格付 : JCR 【A】 ・ R&I 【A】

ほくほくFG統合までの歩み



北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

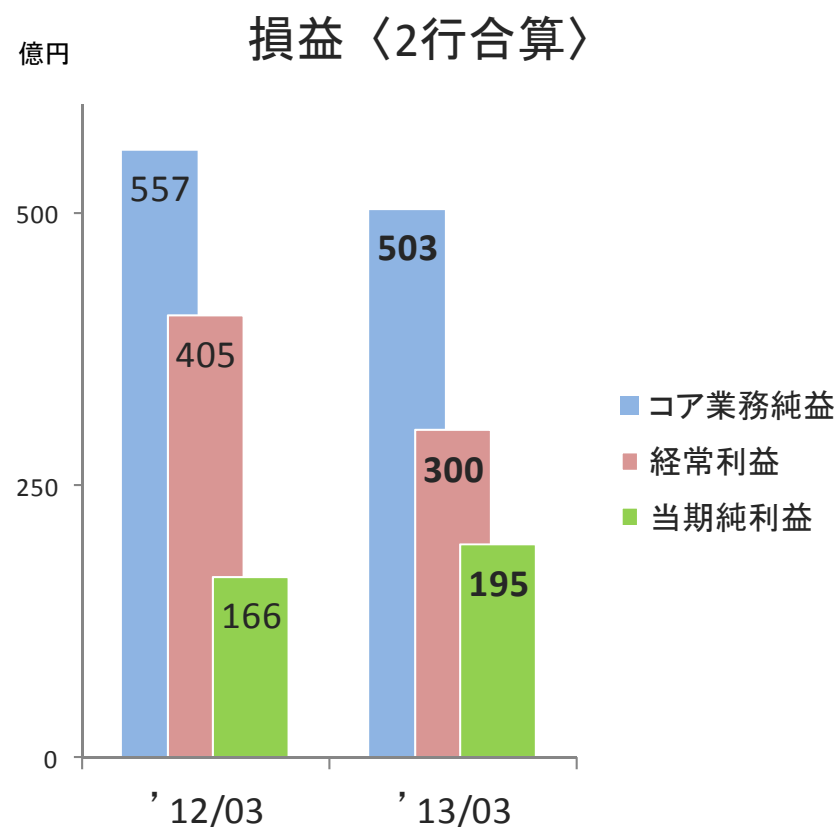
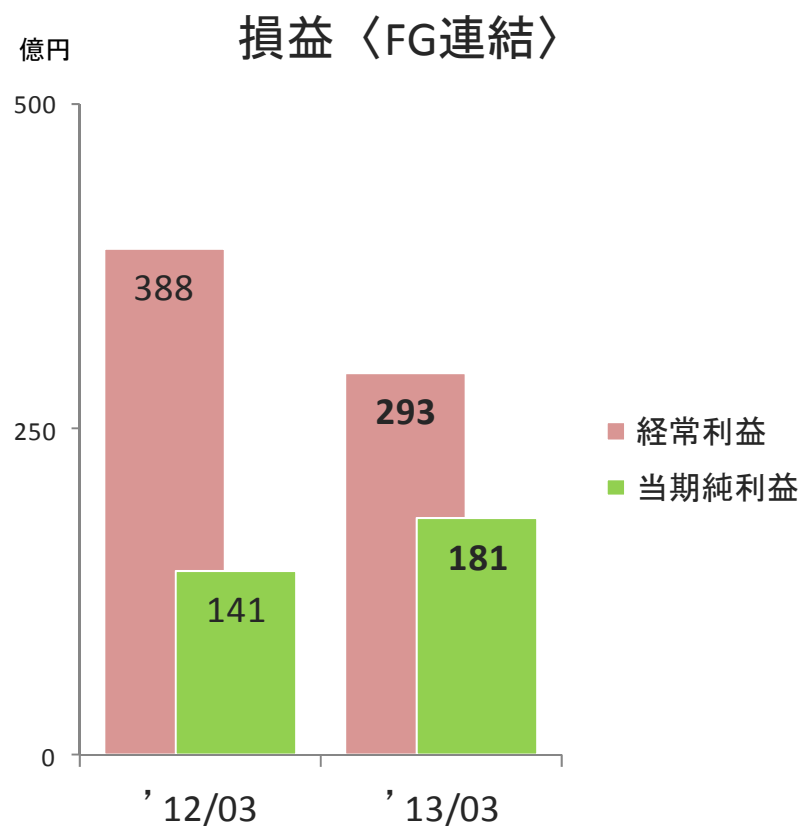


※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

25年3月期決算概要

25 / 3期決算概要～損益

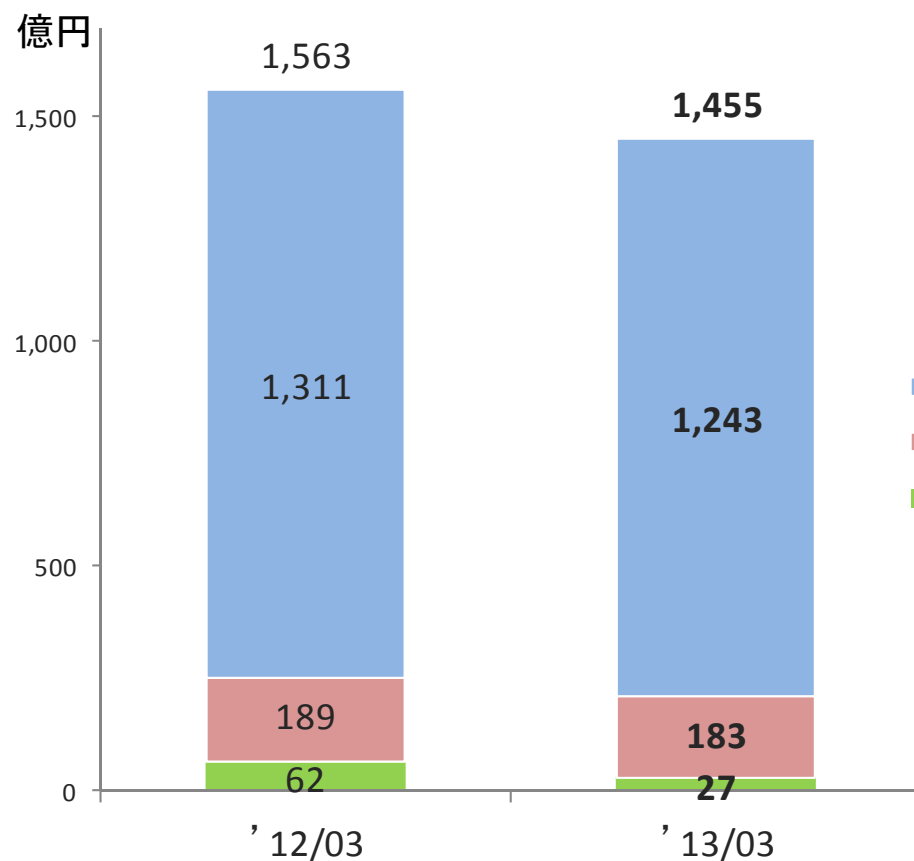
- FG連結の当期純利益は181億円、前年比+39億円
- 2行合算の当期純利益は195億円、前年比+28億円



25 / 3期決算概要～コア業務粗利益

- 資金利益は1,243億円、前期比▲68億円
- 役務利益は183億円、前期比▲5億円
- その他利益は27億円、前期比▲34億円

損益〈2行合算〉



【増減要因】

資金利益

～貸出金・有価証券利息の減少

役務利益

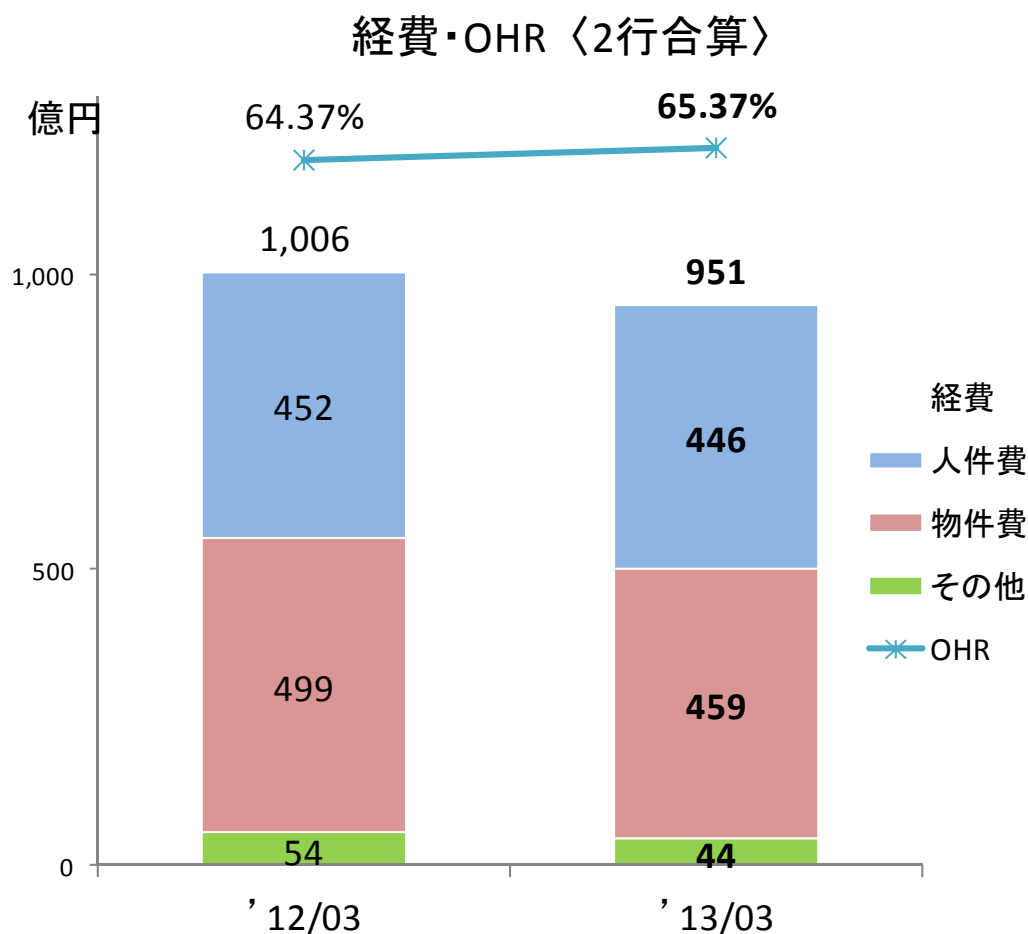
～投信販売手数料の減少・ローン保険料の増加

その他利益

～金融派生商品収益の減少

25 / 3期決算概要～経費

- 経費はシステム関連費用等の減少により前年比▲55億円
- OHRは地銀平均67.1%（平成24年9月）を下回る65.37%



【増減要因】

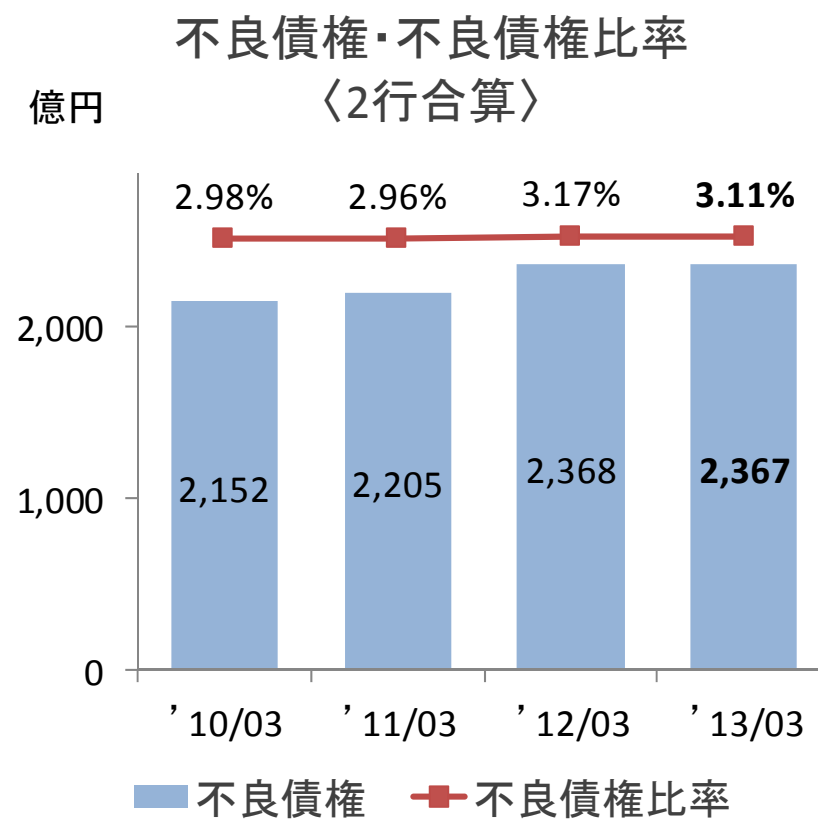
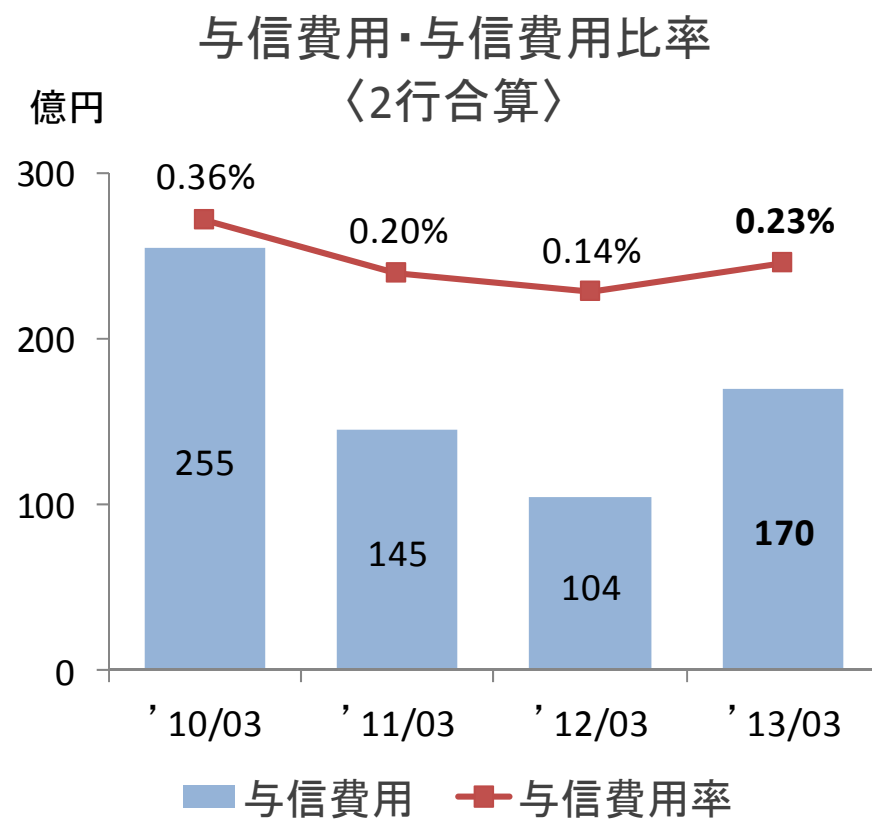
人件費 前期比▲5億円
～時間外手当の減少等

物件費 前期比▲40億円
～システム関連費用・預金保険料の減少

※OHR＝経費÷コア業務粗利益

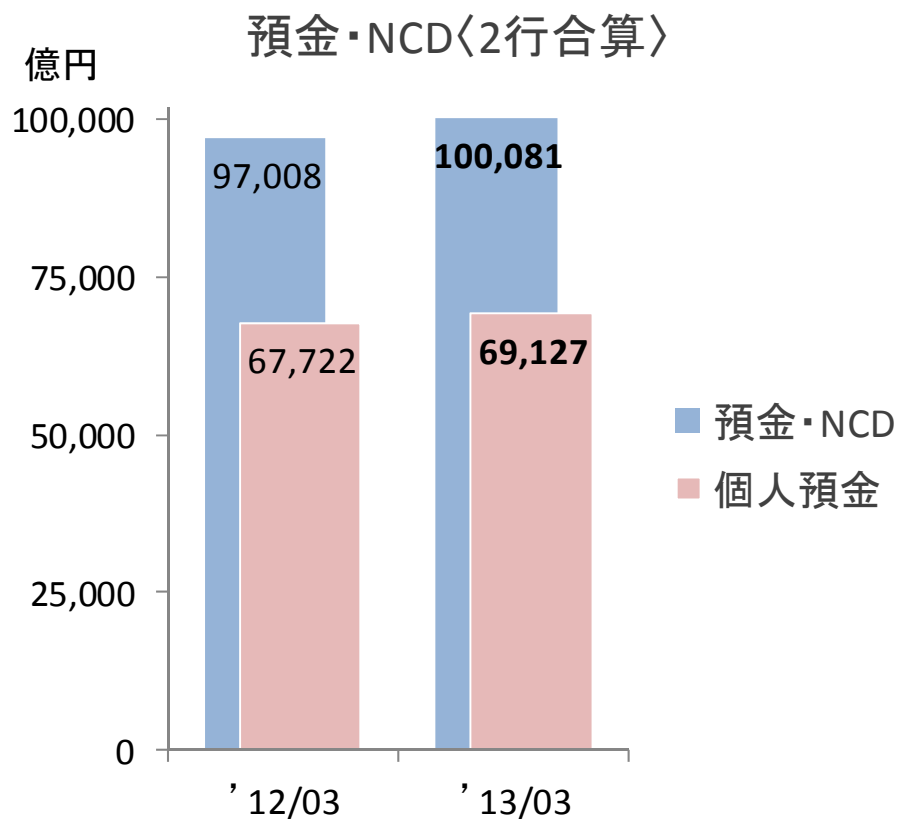
25 / 3期決算概要～与信費用・不良債権

- 大口倒産により与信費用と与信費用比率は増加
- 不良債権は前年比1億円減少し、不良債権比率は0.06%低下

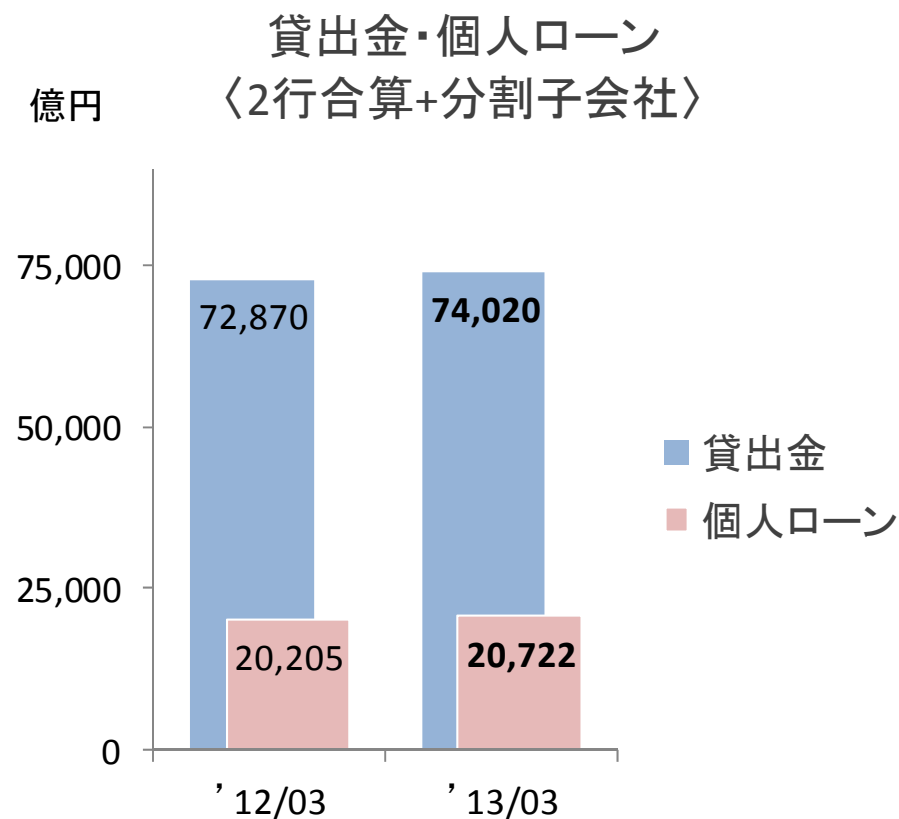


25 / 3期決算概要～預金・貸出金

- 預金は10兆81億円、前期比+3,073億円
- 貸出金は7兆4,020億円、前期比+1,150億円



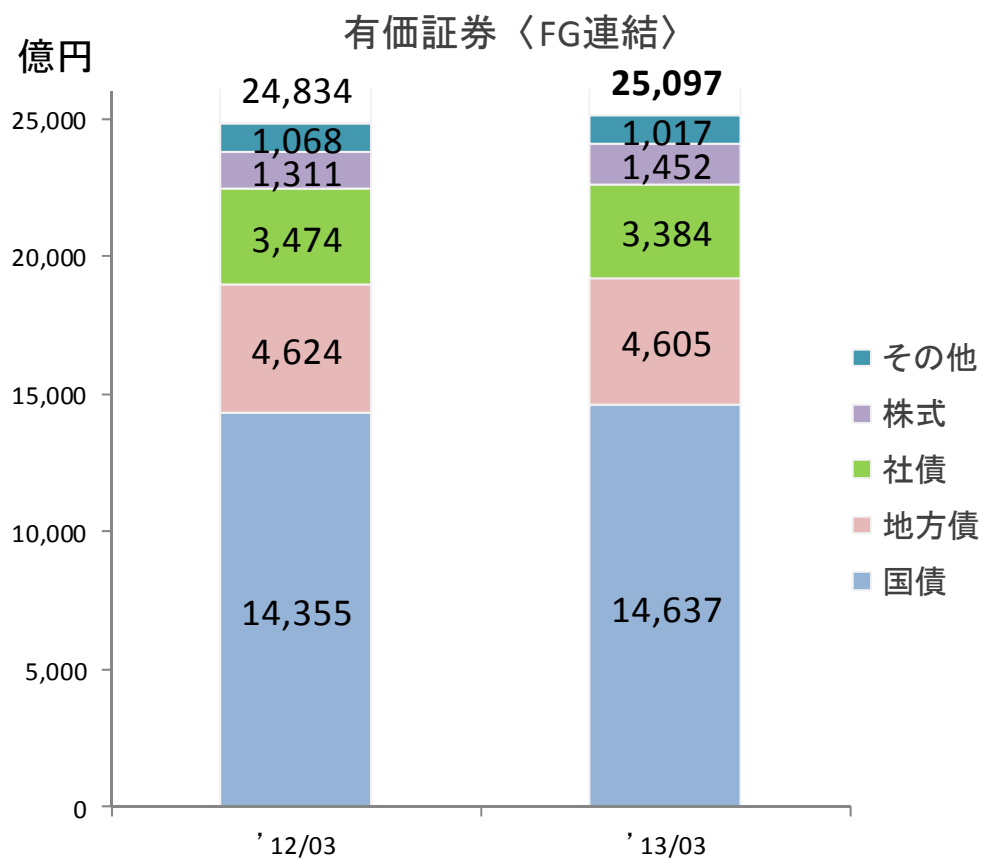
個人預金・法人預金ともに
順調に増加し10兆円に到達



地方公共団体向け・個人ローンで増加

25 / 3期決算概要～有価証券

- 有価証券は国債を中心に増加
- 有価証券の評価損益は前年比改善



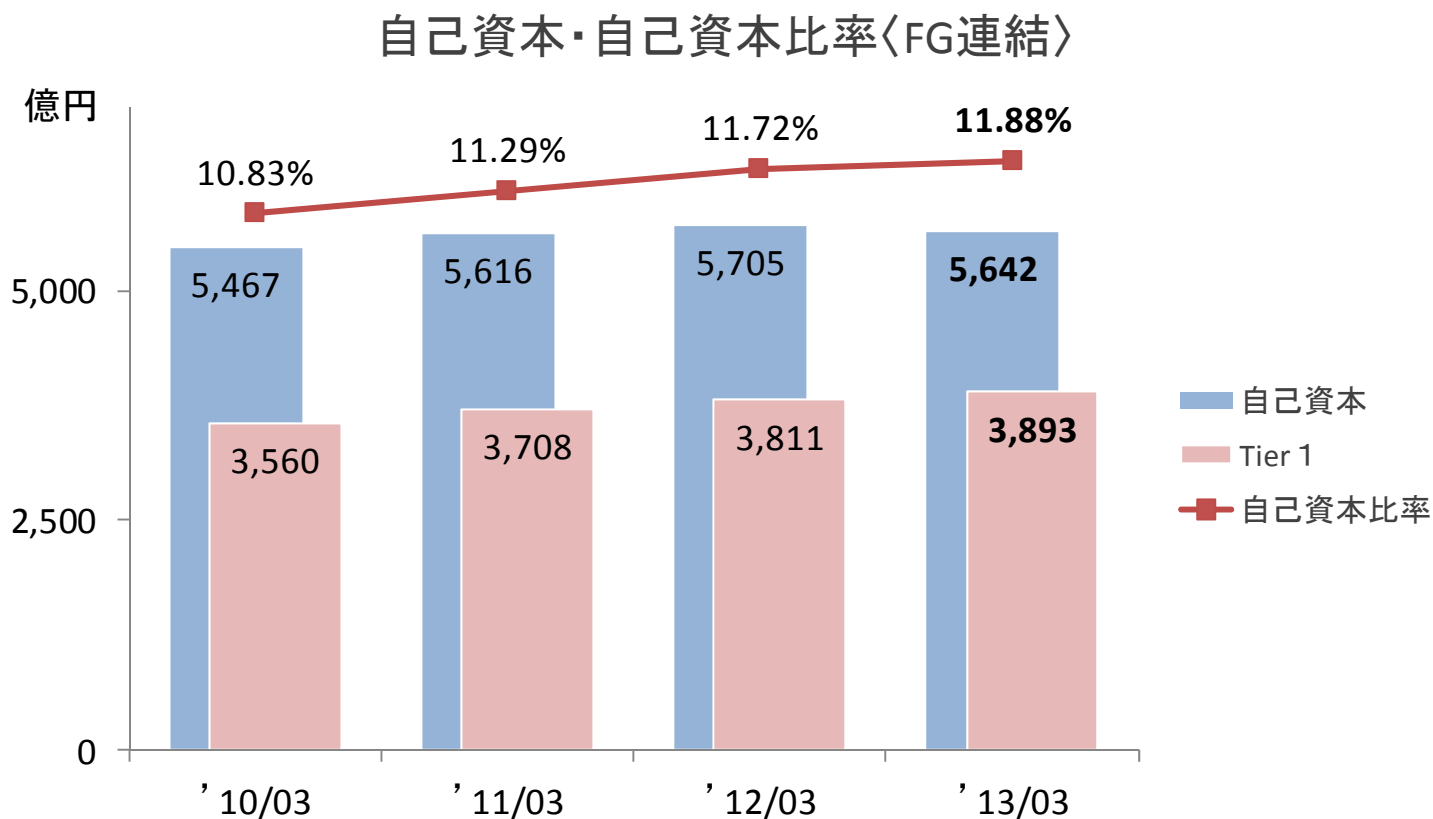
【有価証券の評価損益】 (単位: 億円)

	'13/03	前年比	'12/03
有価証券	765	369	395
債券	467	86	381
株式	234	207	27
その他	63	75	▲ 12

債券 = 国債 + 地方債 + 社債

25 / 3期決算概要～自己資本

- 利益の積上げによりTier1は増加
- 一方で劣後ローンの返済により自己資本総額では減少
- リスクアセット減少の要因もあり自己資本比率は着実に上昇



25 / 3期決算概要～子銀行業績

【各行収益状況】

	北陸銀行		北海道銀行		億円
	'13/03	前年比	'13/03	前年比	
経常収益	1,030	▲ 23	816	▲ 59	
コア業務粗利益	823	▲ 61	631	▲ 46	
経費	509	▲ 33	442	▲ 22	
コア業務純益	314	▲ 28	189	▲ 24	
有価証券等関係損益	▲ 12	▲ 1	17	20	
与信費用	93	49	76	16	
経常利益	183	▲ 91	116	▲ 14	
当期純利益	123	9	72	19	

【主な増減要因】

	コア業務粗利益	経費	経常利益	当期純利益
北陸銀行	資金利益、投信・保険販売手数料の減少	人件費、システム関連費用、預金保険料の減少	与信費用との増加	特別損失と法人税等の減少
北海道銀行	資金利益・金融派生商品収益の減少	システム関連費用および預金保険料の減少	株式等損益の改善、与信費用の増加	法人税等の減少

26/3期業績予想

【26/3期 業績予想】 (単位:億円)

【ほくほくFG連結】	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	910	1,810	▲ 181
経常利益	130	250	▲ 43
当期純利益	70	145	▲ 36

【26/3期 配当予想】

【ほくほくFG単体】	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	3円75銭	3円75銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

【26/3期 業績予想】

(単位:億円)

2行合算

	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	840	1,670	▲ 176
コア業務粗利益	690	1,375	▲ 80
経費	480	950	▲ 1
コア業務純益	210	425	▲ 78
与信費用	60	135	▲ 35
経常利益	135	260	▲ 40
当期純利益	80	160	▲ 35

北陸銀行単体

中間期予想	通期予想	前年比
460	920	▲ 110
380	760	▲ 63
255	510	1
125	250	▲ 64
40	80	▲ 13
75	155	▲ 28
45	95	▲ 28

北海道銀行単体

中間期予想	通期予想	前年比
380	750	▲ 66
310	615	▲ 16
225	440	▲ 2
85	175	▲ 14
20	55	▲ 21
60	105	▲ 11
35	65	▲ 7

中期経営計画
“*GO for IT!*”

前中期経営計画 “Road to 10” の総括

中期経営計画 “Road to 10” (2010年4月～2013年3月:3カ年) ～預金量10兆円金融グループへの足固め～

目指す
グループ像

「地域から親しまれ、頼りにされる金融グループ」

- 従来から取り組んできた経営の3つの柱「**営業力の強化**」「**経営の効率化**」「**経営基盤の安定化**」をさらに進め、**公的資金完済後の経営ステージ**にあわせた施策を展開し、**預金量10兆円**へ向けての足固めとする。

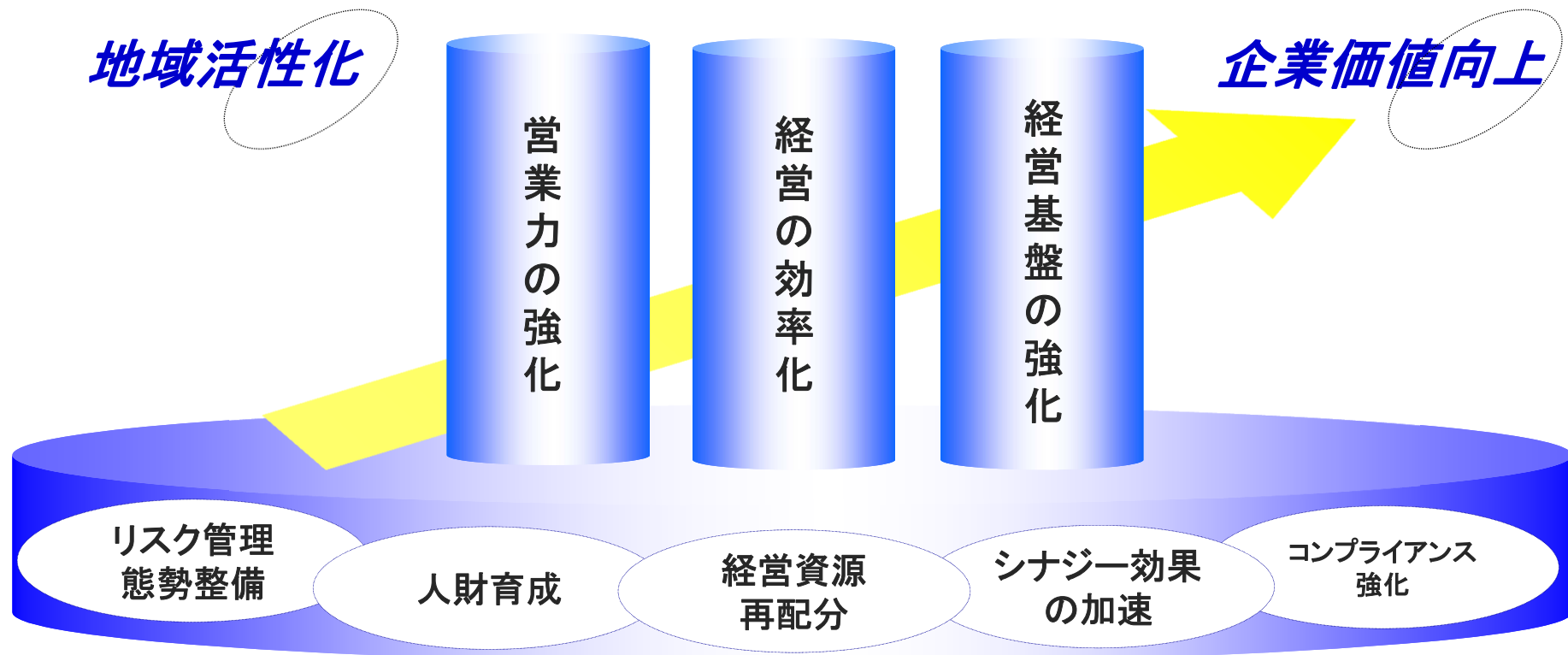
➤ 成果と課題

	成 果	課 題
営業力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取引先数拡大 ✓ BM, 各種セミナー、経営改善支援等ソリューション営業は活発化 ✓ 預金量10兆円への足固め完了 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個社別採算性の向上 ✓ ソリューション営業の成果をビジネスに繋げる態勢整備 ✓ 若年行員層の育成
経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 3行共同利用システムの安定稼働 ✓ 経費実額は計画内に抑制 ✓ 営業人員の増強 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経費率の更なるコントロール ✓ 共同化拡大による機能強化、コストメリットの追求 ✓ 本部・営業店業務の最適化による効率運営の実現
経営基盤の安定化	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自己資本比率改善 ✓ 自己株式取得により株主価値向上 ✓ 安定配当の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 新規制に対応した資本の質向上 ✓ 企業再生支援の取組強化による貸出資産の劣化防止、与信コストの抑制 ✓ リスク管理(AML等)の高度化

新中期経営計画 “GO for IT!” 基本方針

基本方針

- 地域のお客さまとのリレーション強化と内部態勢の強化・再構築により、変化する環境のなかで持続的に成長するための態勢を構築する。
- 「営業力の強化」「経営の効率化」の施策を更に推し進めるとともに、「経営基盤の強化」に取り組む。
- 地域の信頼を得て地域活性化に資することを通じて企業価値を高める。



営業力の強化	施策
顧客取引基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 取引先数の更なる増強 ➤ メイン化、クロスセルの取組強化
コンサルティング 営業の強化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 重点分野等の知識武装と推進強化 (農業、医療・福祉、環境・再生エネルギー分野) ➤ PB、M&A、事業承継等への取組強化
広域グループ の優位性発揮	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ビジネスマッチングの進化、質の向上 ➤ 海外進出先等支援の質の向上
個人取引マーケット の取組強化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ セグメントに対応した施策展開 ➤ 非対面チャネルの活用 ➤ 投信・保険販売態勢の整備と推進強化
有価証券運用の強化	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事業性貸出の資金需要低迷による資金益減少を補完

広域グループの優位性発揮

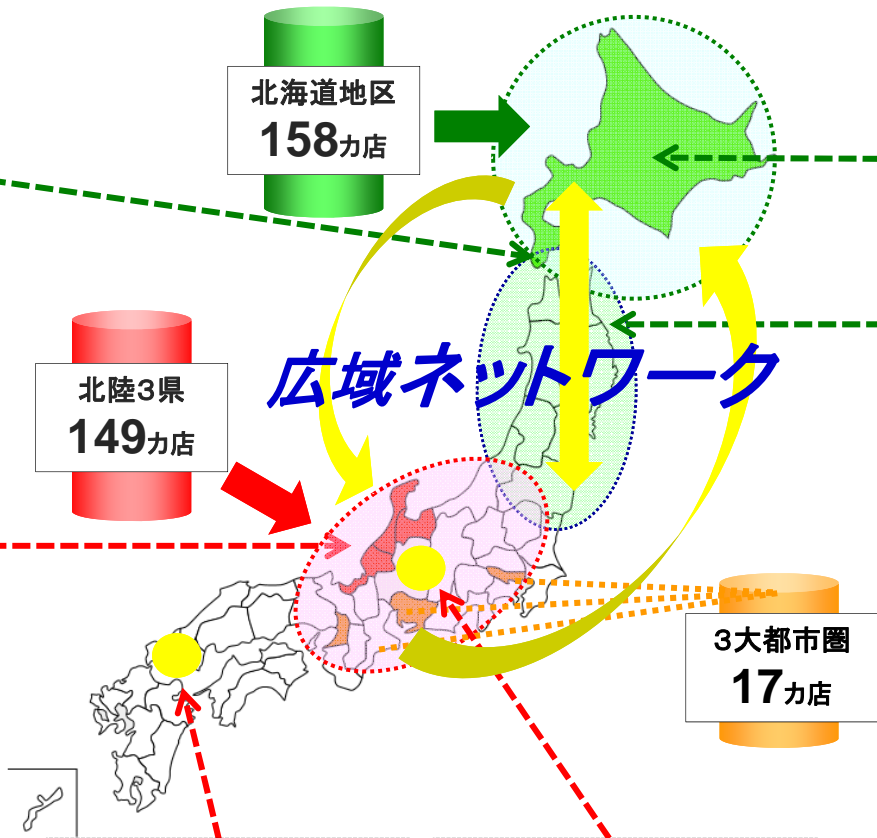
ビジネスマッチングの進化、質の向上 グループ及び他行連携を活用した地域企業へのメリット提供

北海道新幹線開業
2015年度開業(予定)
新青森⇄新函館
2035年度開業(予定)
新函館⇄札幌

北陸新幹線開業
2015年春開業
富山⇄東京2:07

沿線間の交流増加で観光消費や雇用拡大に期待

国際線定期便就航
2012.4 中華航空
(富山⇄台湾)
2012.10 ハワイアン航空
(新千歳⇄ホノルル)
2012.10 タイ国際航空
(新千歳⇄バンコク)



北海道フード特区
2012.4 始動
食糧供給基地として企業集積を図り、東南アジアへの輸出拠点化を目指す

地銀連携
2013.3 北海道銀行と東北地区に本店を置く地銀10行の業務提携

- ・青森銀行
- ・みちのく銀行
- ・岩手銀行
- ・東北銀行
- ・七十七銀行
- ・秋田銀行
- ・北都銀行
- ・山形銀行
- ・荘内銀行
- ・東邦銀行

北海道新幹線の開業を控え、東北地区と北海道地区との相互交流を支援

地銀連携
北陸銀行と山口銀行
両行の海外拠点を相互活用し、お取引先企業の支援体制を充実

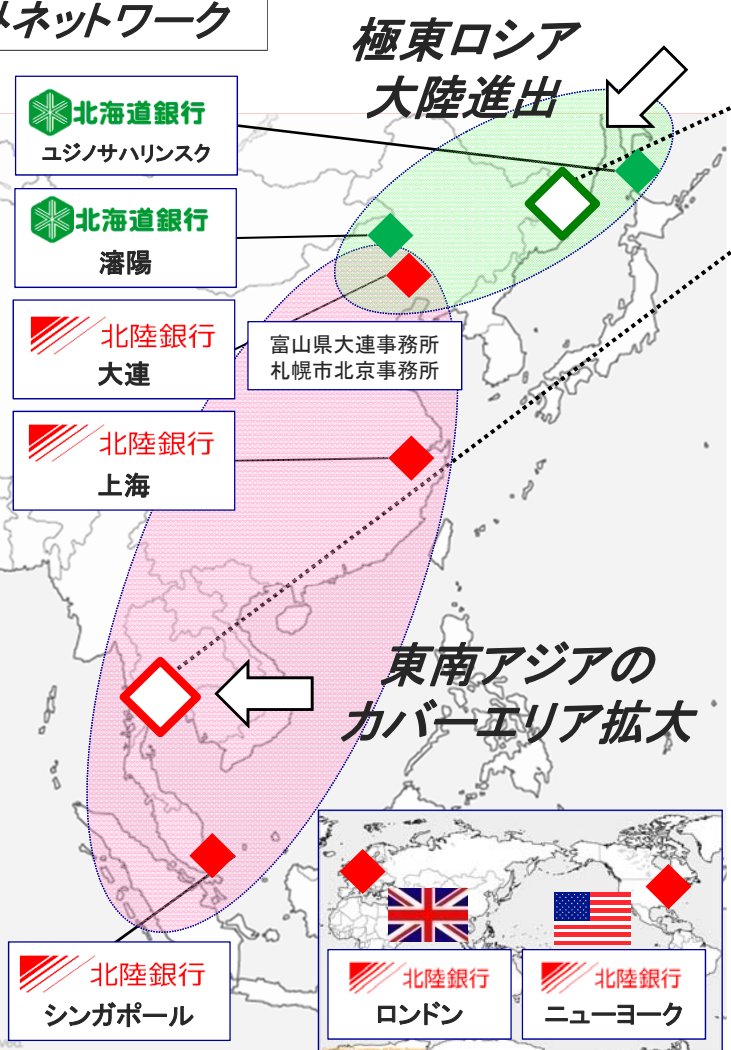
地銀連携
北陸銀行と大垣共立銀行
東海地方と北陸地方のビジネス商談会を共同開催

広域グループの優位性発揮

海外進出先等支援の質の向上
グループ海外拠点を活用した幅広いサービス提供

地銀随一の海外ネットワーク

提携外国金融機関	
アジア 全域	スタンダード チャータード 銀行
中国	中国銀行 中国交通銀行 上海銀行
タイ	カシコン銀行
インド	インドステイト 銀行
ベトナム	ベトコム銀行
インド ネシア	バンク・ネガラ・ インドネシア
ロシア	VTB銀行 ガスプロム ズベルバンク



13年度中開設予定 北海道銀行 ウラジオストク駐在員事務所

12年3月開設 北陸銀行 バンコク駐在員事務所

- ◆ 海外駐在員事務所・行員の派遣
 - ・8拠点、総勢21名のスタッフ、その他外部機関等へ6名の行員を派遣
- ◆ 取引先へのサポート機能
 - ・外部専門機関との業務提携（税務、財務、法務などのコンサル）
 - ・ビジネスマッチング、セミナーの開催
 - ・現地法人への直接貸付
 - ・貿易保険・海外リース案件の取次
- ◆ 人財育成
 - ・語学留学、研修生派遣、語学習得支援

国際業務に係る連携 北陸銀行と山口銀行
両行の海外拠点を相互活用し、お取引先企業の支援体制を充実「青島」「香港」「釜山」

個人取引マーケットの取組強化

セグメントに対応した
施策の展開

非対面チャネルの強化

投信・保険販売の
態勢整備と推進強化

施策

- 共同MCIFシステム(EBM情報)を活用した効果的なアプローチを開始
- 若年層、資産形成層、資産運用層、資産承継層に応じた商品・サービスの拡充

- 個人IBサービスの機能拡充
- ホームページのリニューアル

- 日本版ISA対応
- IB投信の推進
- 各種プラザ機能の強化

投信・保険の販売計画(2行合算)

(億円)

	26/3期	27/3期	28/3期
投信	962	1,415	1,670
保険	662	815	970

2013年4月開設
どうぎん保険プラザ大通

保険専門アドバイザー
がお客様の幅広い
ニーズにお応えし、ライフ
ステージに合わせた最
適な提案を実施。



経営の効率化

施策

業務集約化
共同化の取組強化

- FG規模に見合ったコスト構造構築に向けた取り組み
本部機能集約化、バックオフィス共同化、商品・広告等の共同化
- 統合管理による態勢強化

共同利用システムの
メリット追求

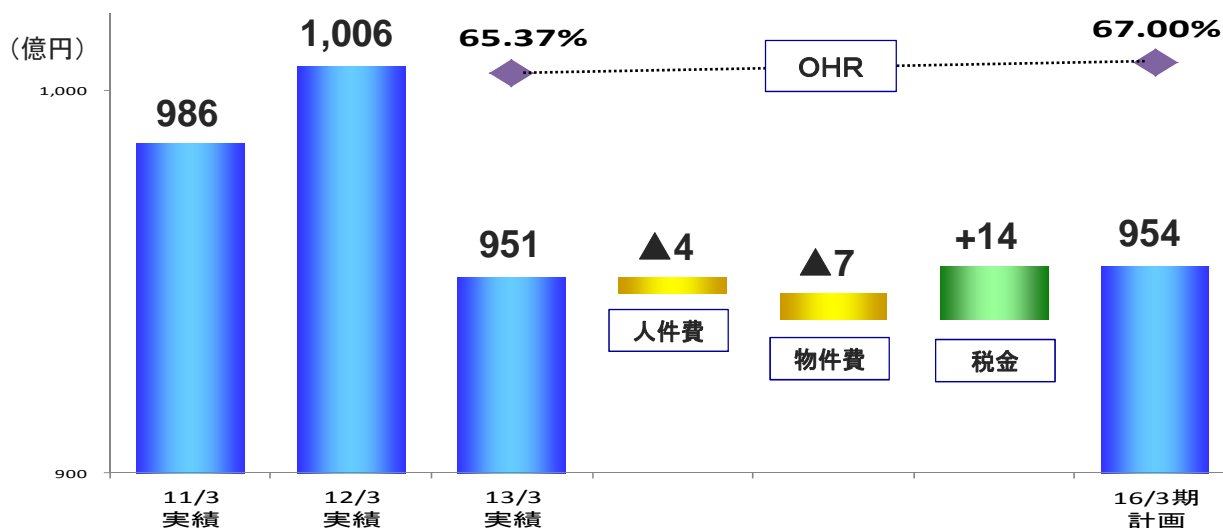
- 3行共同 ⇒ 4行共同態勢による更なるコスト削減
- グループ内サブシステム、事務統合への継続取組

事務効率化
本部・営業店運営の見直し

- 本部・営業店業務の最適化による効率運営の実現
- 重点営業地域への戦略的人員配置

経費・OHR（2行合算）

- システム関連経費は12/3期でピークアウト
- 人件費、物件費の削減図るも消費増税の影響により経費は横ばい。
- OHRはトップラインの低下により現状程度で推移



経営基盤の強化

施策

資本政策

- バーゼルⅢに対応した質の向上
- 株主価値向上に向けた政策の実施

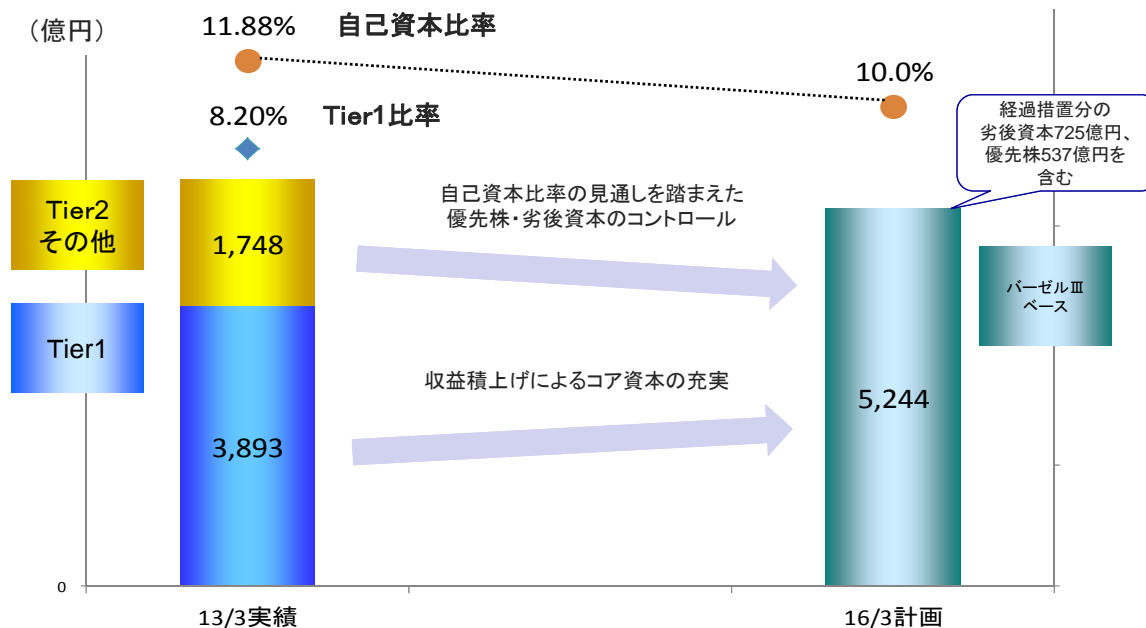
資産の質の向上

- リスクウエイトの低い良質資産の積上げ

企業再生支援の取組強化

- 外部機関との連携
- 地域再生ファンド活用

自己資本比率(FG連結)



還元方針

普通株配当

段階的増配

- 配当性向30%以上を基本に収益増強により段階的増配を目指す。
- バーゼルⅢの段階適用による劣後資本等の算入低減を踏まえ、連結自己資本比率10%程度を確保するよう内部留保を積み上げる。

新中期経営計画 “GO for IT!” 人財戦略 & リスク管理・コンプライアンス

人財戦略

◆ 顧客の信頼を得て、頼りにされる人財の育成

- コンサルティング営業力の向上
- 融資・目利き能力の向上

◆ 人員構成の歪みを補完するための各層の教育態勢を整備

- 若年層行員の戦力化、女性行員、シニア層の戦略的活用

◆ 本部、営業店人員配置の最適化

- 重点営業地域への戦略的
人員配置

リスク管理・コンプライアンス

◆ 公正堅実の企業文化の醸成

- 北陸銀行の業務改善計画の確実な履行とグループ経営への展開
- リスクベースアプローチによる内部監査の実施

◆ グループとしての統合的なリスク管理態勢の強化

- 共通与信先の管理強化
- バーゼルⅢを見据えたリスク資本配賦運営態勢の構築

◆ 顧客保護への取組み

- オンサイト・オフサイトモニタリングの機能強化

株主とのコミュニケーションの充実

- IR活動の充実
- 株主総会
- 情報開示

CS向上と顧客保護の徹底

- CS向上活動
- お客さま相談体制の強化
- 顧客保護の徹底

従業員満足を高める雇用環境の整備

- 若年層行員、女性行員、ベテラン層行員の活躍機会拡大
- 子育て支援、介護支援
- 能力開発支援

地域社会への貢献

- 金融教育活動
- スポーツ・芸術文化振興
- 環境保護活動

個人投資家向けIR



金融教育活動



芸術文化振興

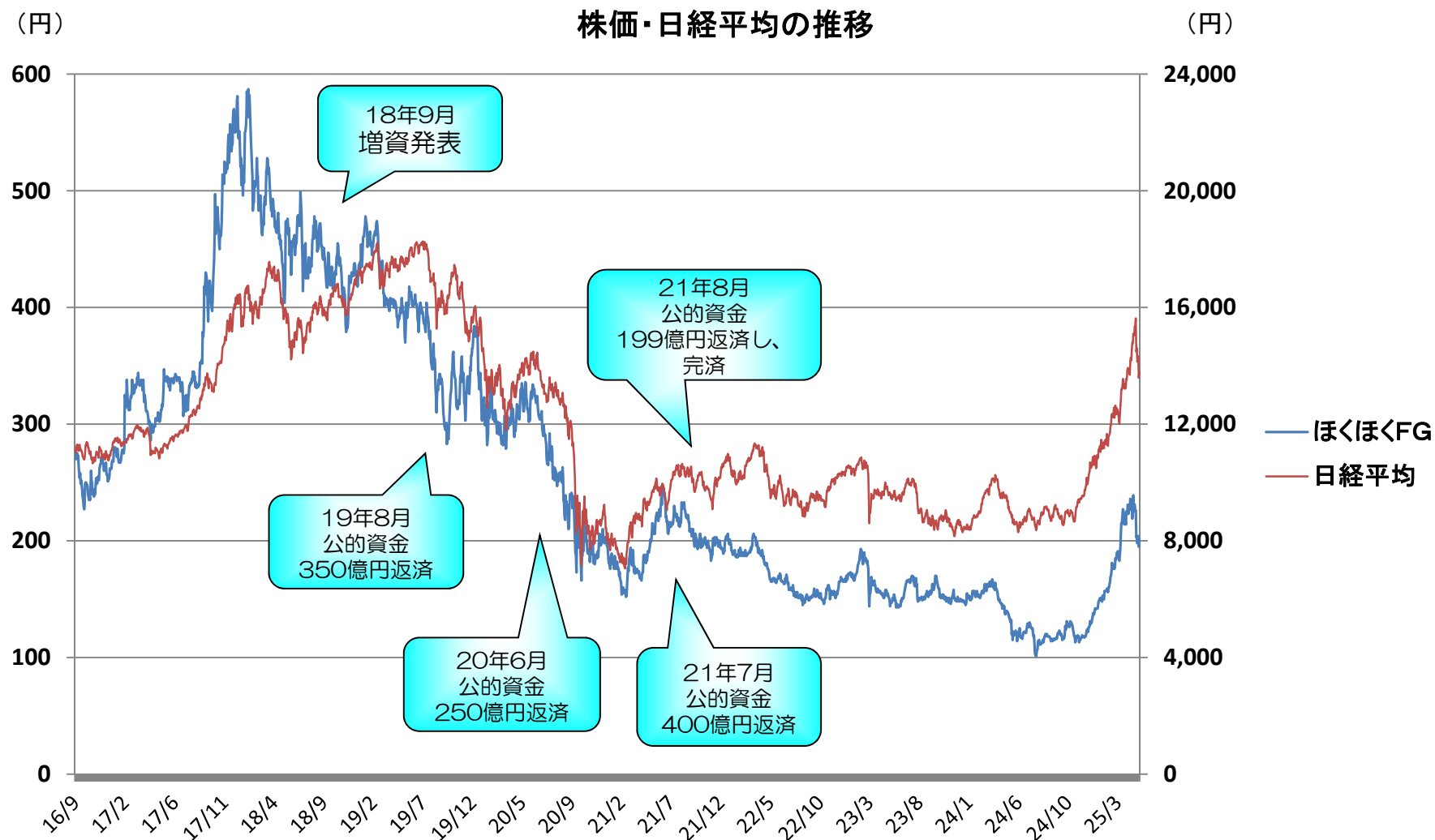


中期経営計画 “GO for IT” 計数計画 (2013年4月～2016年3月:3カ年)

(連結／2行合算)	13年3期(実績)	16年3期(計画)	3年間の増減
総預金平残	9兆7,903億円	10兆1,100億円	+3,197億円
貸出金平残	7兆2,778億円	7兆4,800億円	+2,002億円
コア業務純益	503億円	470億円	▲33億円
(連結)当期純利益	181億円	185億円	+4億円
(連結)自己資本比率	11.88%	(連結)自己資本比率 10%以上	(14/3期より バーゼルⅢ)
(連結)Tier I 比率	8.20%		
OHR (コア業務粗利益ベース)	65.37%	67%	+1.63%
不良債権比率	3.11%	2%台	

業績の推移

ほくほくFG株価の推移



(単位: 億円)

(ほくほくFG連結)	08/3期 通期	08/9期 半期	09/3期 通期	09/9期 半期	10/3期 通期	10/9期 半期	11/3期 通期	11/9期 半期	12/3期 通期	12/9期 半期	13/3期 通期
経常収益	2,612	1,238	2,396	1,143	2,267	1,092	2,146	1,057	2,079	1,057	1,991
経常利益	663	196	213	133	354	180	372	189	388	89	293
当期純利益	386	375	370	57	192	100	184	89	141	61	181
自己資本比率	10.39%	10.39%	10.81%	10.91%	10.83%	11.39%	11.29%	11.57%	11.72%	11.90%	11.88%

(2行合算) ※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は+分割子会社ベース

コア業務粗利益	1,785	873	1,683	796	1,609	760	1,554	773	1,563	735	1,455
経費	899	456	915	471	944	484	986	514	1,006	485	951
コア業務純益	886	417	768	324	664	276	567	259	557	250	503
有価証券等関係損益	▲ 6	▲ 52	▲ 176	8	2	8	▲ 10	12	▲ 14	▲ 35	4
与信費用	255	161	355	168	255	83	145	64	104	104	170
経常利益	650	194	213	142	368	188	370	193	405	94	300
当期純利益	390	378	379	114	260	111	196	98	166	70	195
ROA(コア業務純益ベース)	0.95%	0.88%	0.80%	0.66%	0.68%	0.54%	0.56%	0.49%	0.53%	0.47%	0.47%
OHR(コア業務粗利益ベース)	50.36%	52.19%	54.37%	59.20%	58.68%	63.67%	63.47%	66.46%	64.37%	65.98%	65.37%
貸出金(末残)	68,976	70,063	71,567	70,015	69,936	69,667	72,411	72,361	72,870	73,138	74,020
預金(末残)含む譲渡性預金	85,022	86,503	87,424	89,302	91,203	92,239	95,238	95,347	97,008	97,876	100,081
有価証券(末残)	17,148	17,458	17,250	17,876	20,150	22,041	23,151	24,658	24,718	23,926	24,978
金融再生法開示債権	2,607	2,531	2,275	2,146	2,152	2,144	2,205	2,298	2,368	2,521	2,367
開示債権比率	3.64%	3.48%	3.07%	2.96%	2.98%	2.98%	2.96%	3.08%	3.17%	3.36%	3.11%

主要経営指標の推移 (北陸銀行)

(単位: 億円)

	08/3期 通期	08/9期 半期	09/3期 通期	09/9期 半期	10/3期 通期	10/9期 半期	11/3期 通期	11/9期 半期	12/3期 通期	12/9期 半期	13/3期 通期
経常収益	1,412	653	1,242	575	1,137	550	1,088	540	1,054	562	1,030
コア業務粗利益	1,052	498	947	453	901	441	885	452	885	424	823
経費	511	257	513	258	518	265	538	277	542	259	509
コア業務純益	541	241	434	195	383	175	346	174	343	164	314
有価証券等関係損益	▲ 7	▲ 38	▲ 126	▲ 12	▲ 24	▲ 20	▲ 28	▲ 10	▲ 11	▲ 36	▲ 12
与信費用	204	105	214	70	134	29	71	19	44	95	93
経常利益	356	96	88	98	199	121	229	138	274	23	183
当期純利益	212	301	264	75	156	72	119	69	114	19	123
自己資本比率	10.10%	10.26%	10.23%	10.56%	10.80%	11.27%	11.32%	11.62%	11.85%	11.89%	11.78%
ROA(コア業務純益ベース)	0.99%	0.86%	0.77%	0.69%	0.68%	0.60%	0.59%	0.58%	0.57%	0.55%	0.52%
OHR(コア業務粗利益ベース)	48.53%	51.58%	54.18%	56.95%	57.48%	60.16%	60.85%	61.32%	61.25%	61.17%	61.84%
貸出金(末残)	42,107	42,459	42,933	41,726	41,426	41,092	42,523	42,057	42,339	42,455	43,327
預金(末残)含む譲渡性預金	49,557	50,161	50,925	51,558	53,067	52,926	54,399	54,165	55,451	55,412	57,262
有価証券(末残)	8,209	8,337	8,588	8,584	10,159	10,884	12,175	12,857	13,154	11,782	12,696
金融再生法開示債権	1,635	1,597	1,426	1,401	1,473	1,461	1,443	1,531	1,535	1,681	1,484
開示債権比率	3.72%	3.60%	3.19%	3.23%	3.42%	3.43%	3.28%	3.52%	3.53%	3.86%	3.34%

※貸出金、金融再生法開示債権、開示債権比率は+分割子会社ベース

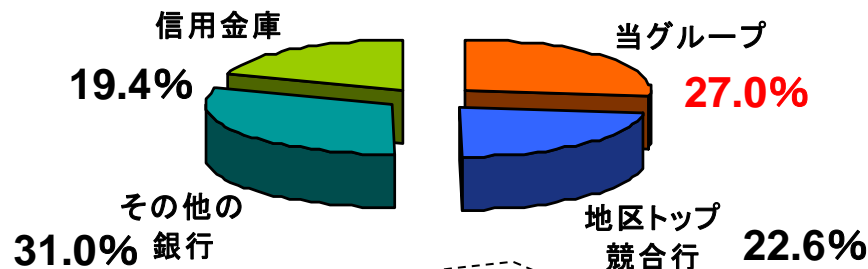
主要経営指標の推移 (北海道銀行)

(単位: 億円)

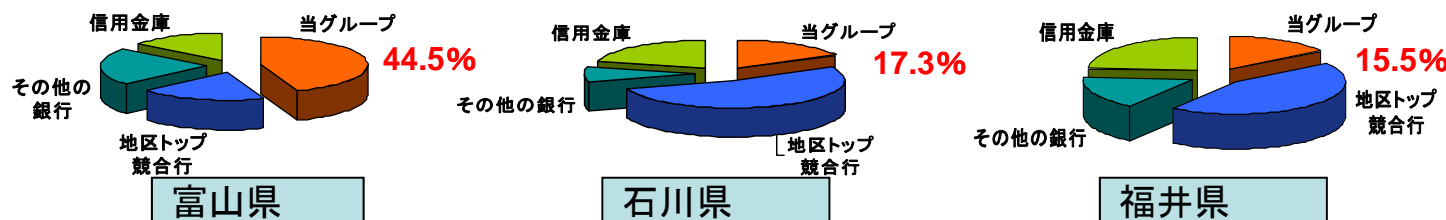
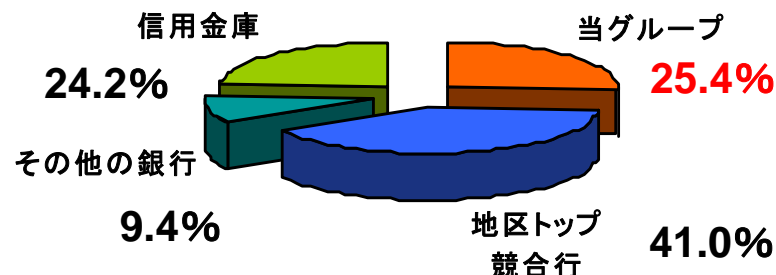
	08/3期 通期	08/9期 半期	09/3期 通期	09/9期 半期	10/3期 通期	10/9期 半期	11/3期 通期	11/9期 半期	12/3期 通期	12/9期 半期	13/3期 通期
経常収益	960	477	943	469	937	448	870	432	875	423	816
コア業務粗利益	732	375	735	342	708	319	668	321	678	310	631
経費	388	198	402	213	426	218	447	237	464	225	442
コア業務純益	344	176	333	129	281	100	221	84	214	85	189
有価証券等関係損益	1	▲ 13	▲ 49	21	27	29	17	22	▲ 2	1	17
与信費用	51	56	140	97	120	53	74	44	59	8	76
経常利益	294	98	125	43	169	66	141	54	131	71	116
当期純利益	178	77	114	38	103	39	77	29	52	50	72
自己資本比率	10.13%	9.68%	10.45%	10.30%	10.19%	10.68%	10.59%	10.57%	10.80%	11.05%	11.23%
ROA(コア業務純益ベース)	0.90%	0.90%	0.85%	0.63%	0.68%	0.47%	0.51%	0.37%	0.47%	0.37%	0.41%
OHR(コア業務粗利益ベース)	52.98%	53.00%	54.62%	62.17%	60.21%	68.53%	66.93%	73.69%	68.44%	72.57%	69.98%
貸出金(末残)	26,868	27,603	28,634	28,289	28,510	28,574	29,888	30,304	30,530	30,683	30,693
預金(末残)含む譲渡性預金	35,465	36,341	36,499	37,744	38,136	39,313	40,839	41,182	41,557	42,464	42,819
有価証券(末残)	8,938	9,120	8,662	9,291	9,991	11,157	10,976	11,801	11,564	12,144	12,282
金融再生法開示債権	972	935	848	745	679	683	763	767	833	840	882
開示債権比率	3.52%	3.29%	2.89%	2.57%	2.32%	2.33%	2.49%	2.47%	2.66%	2.66%	2.79%

地域シェア～貸出金残高(12年9月末)～

北陸三県



北海道



※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値

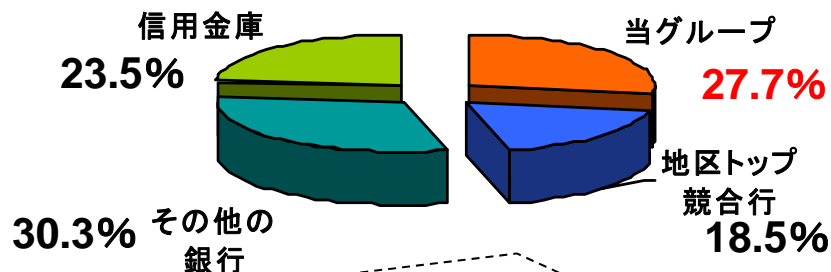
(億円)

	北陸三県				北海道
	富山県	石川県	福井県		
銀行	70,482(80.6%)	25,873(79.1%)	16,719(75.7%)	93,474(75.8%)	
うち当グループ	23,597(27.0%)	5,669(17.3%)	3,428(15.5%)	31,300(25.4%)	
北陸銀行 (サービシング残高含む)	23,597(27.0%) (23,977)	5,669(17.3%) (5,779)	3,428(15.5%) (3,470)	5,093(4.1%) (5,111)	
北海道銀行	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	26,207(21.3%)	
地区トップ競合行	19,771(22.6%)	17,283(52.8%)	9,742(44.1%)	50,599(41.0%)	
信用金庫	16,927(19.4%)	6,843(20.9%)	5,363(24.3%)	29,847(24.2%)	
合計	87,409(100%)	32,716(100%)	22,082(100%)	123,321(100%)	

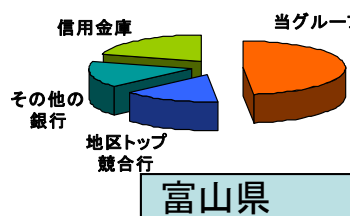
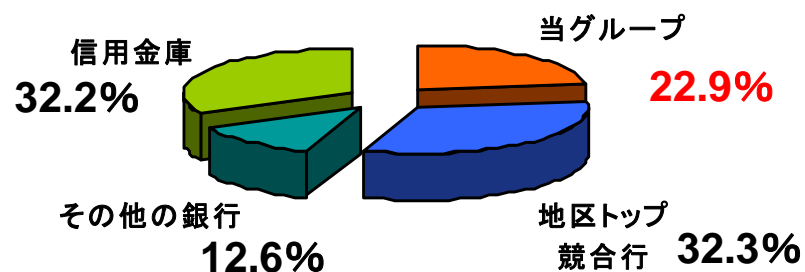
※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

地域シェア～預金残高(12年9月末)～

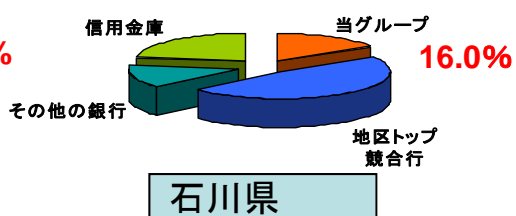
北陸三県



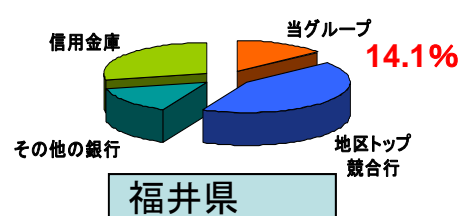
北海道



富山県



石川県



福井県

※「地区トップ競合行」、「その他の銀行」のシェアは推定値

(億円)

	北陸三県				北海道
		富山県	石川県	福井県	
銀行	118,235(76.5%)	46,094(79.4%)	43,342(76.9%)	28,799(71.7%)	140,199(67.8%)
うち当グループ	42,801(27.7%)	28,109(48.4%)	9,040(16.0%)	5,651(14.1%)	47,369(22.9%)
北陸銀行	42,801(27.7%)	28,109(48.4%)	9,040(16.0%)	5,651(14.1%)	5,662(2.7%)
北海道銀行	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)	41,707(20.2%)
地区トップ競合行	28,549(18.5%)	8,847(15.2%)	26,736(47.4%)	17,254(42.9%)	66,878(32.3%)
信用金庫	36,369(23.5%)	11,954(20.6%)	13,030(23.1%)	11,384(28.3%)	66,684(32.2%)
合計	154,604(100%)	58,048(100%)	56,372(100%)	40,183(100%)	206,883(100%)

※ 日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキンより当社にて作成

本日はご多忙の中、当社説明会にご出席いただきまして、まことにありがとうございました。

本日のご説明ならびに本資料を通じまして、ほくほくフィナンシャルグループに対するご理解の一助としていただければ幸いです。

株主・投資家の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

取締役社長 高木 繁雄
取締役副社長 堰八 義博

本件に係る照会先

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：東）

TEL：076-423-7331

FAX：076-423-9545

E-MAIL：honsha2@hokuhoku-fg.co.jp

<http://www.hokuhoku-fg.co.jp/>

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。